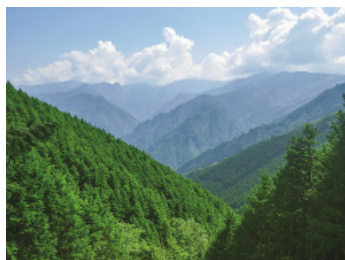
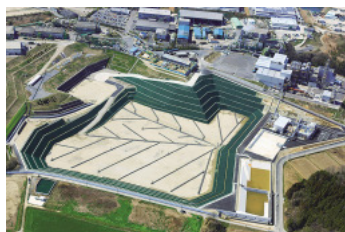


当社は、大栄環境ホールディングスの中核企業として、一〇〇%同一資本会社一八社で大栄環境グループを構成し、パートナー企業との合弁会社九社で、近畿圏および中部圏二三拠点で再資源化を重視した事業展開を行っている。一九七九年の創業以来、「持続型資源循環社会」を目指し、各リサイクル法に対応する設備投資を行うとともに環境技術を磨き、業界トップクラスの処理能力を備えている。主要な施設では一般廃棄物を取り扱う許可も有しており、自治体からの処理委託やリサイクル業務の受託を通じ、産業界や個人の暮らしを支える都市インフラとしての役割を担っている。

二〇一四年度にスタートした第六次経営計画の目標に掲げた「二〇一八年



森林保全事業で環境づくりを推進する



事業基盤として重要な最終処分場
(三重事業所：2015年オープン)

度売上高五〇〇億円、経常利益五〇億円」は二〇一五年度に達成し、二〇一六年度より第七次経営計画に移行した。第七次計画では、「二〇二〇年度売上高七〇〇億円、経常利益七〇億円」の目標を設定し、強固な財務基盤を構築するとともに、目先の利益にとらわれない投資を引き続き積極的に行っていく。その一つが森林保全事業であり、CO₂の固定・水源かん養・生物多様性等の多機能性を有する森林を保有し、環境づくりを推進する。そのほかにも、資源循環の革新など四つの施策を掲げ、創業から一〇〇年を見据えた事業基盤を構築し、経営ビジョンである「事業の永続性を高め、環境創造企業として進化する」をより確かなものにしていく。

また、世界中で環境問題に関心が集まるなか、解決に向けた技術、スキームを開発・発信していくことが、わが国に求められていると感じています。経団連会員の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りながら、この課題に取り組んでいく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

廃棄物の処理・リサイクルは、電気・ガス・水道と同じく、社会に欠かせないライフラインです。当社グループは、そのライフラインを守り、社会基盤を支える事業を担っていると自負しています。二〇一六年三月には、国内で八〇〇〇haの森林を保有する会社をグループに迎え入れ、森林保全事業に参入しました。資源循環と森林保全の両面から長期的な視野に立って「環境づくり」を進めてまいります。

MESSAGE

静脈ライフラインを守り、
環境づくりを進める

社長

金子文雄

かねこ ふみお



大栄環境株式会社

- 資本金：9,000万円
(グループ連結：8億1,120万円)
- 設立：1979年10月
- 従業員数：単体741名、グループ1400名
(2015年4月30日現在)
- 本社所在地：〒594-1144
大阪府和泉市テクノステージ
2-3-28
- 事業内容：環境ソリューション事業(廃棄物の収集運搬・処理処分業、各種リサイクル法への対応・コンサルティングほか)
- U R L : <http://www.dinsr.co.jp/>